



「ヤングフォーラム2019in 弘前大学」を開催しました！



10代、20代のみなさんにもっと政治や選挙に興味を持ってほしい！

「ヤングフォーラム」は、そんな思いから、青森県明るい選挙推進協議会・青森県選挙管理委員会が毎年度開催しているイベントです。

今年度は、弘前大学にお邪魔して、12月7日（土）に開催しました！

1. 開催日時・場所

令和元年12月7日（土） 13時～16時

弘前大学 教育学部 1階「中教室」

2. 参加者

青森県内の高校生、大学生 45名



3. プログラム

(1) 「より多くの若者が政治に参加するために～若者リーダーフォーラムで学んだことから～」

11月16日（土）～17日（日）に宮城県仙台市で開催された「若者リーダーフォーラム（北海道・東北ブロック）」（主催：公益財団法人明るい選挙推進協会）に参加した、弘前学院大学社会福祉学部1年の木村太一さんから、フォーラムで学んだことなどを報告していただきました。



(2) ミニレクチャー「青森県の投票率と投票率向上に向けた取組み」

青森県選挙管理委員会事務局職員から、青森県の投票率の現状や青森県選挙管理委員会で行っている投票率向上に向けた取組みを紹介しました。

(3) ワークショップ「政策を考えて、投票してみよう」

ワークショップのコーディネーターは、弘前大学教育学部の時田専任講師です。

まずは、自己紹介などアイスブレイクをした後、各グループは一つの政党となり、それぞれのグループ（政党）で、次の点も考慮しながら、政策を考えてもらいました。

- 政党名を考える。
- 税制をどうするか。（消費税率を3%にするか、10%にするか）
- 政策分野を「経済・産業」、「社会保障」、「子育て・教育」、「まちづくり」、「外交・防衛」に分けて、各分野にいくらの予算を使うか。（予算配分）



次に、各政策分野の中から、各グループ（政党）の具体的な「目玉政策」を2つ考え、模造紙にまとめて、発表してもらいました。



各グループ（政党）の発表が終わった後、どのグループ（政党）の政策が良かったか参加者全員で投票しました。2つのグループ（政党）の得票数が同数となったので、最後は、公職選挙法に倣って、くじ引きで当選グループ（政党）を決めました。



4. 参加者の皆さんから寄せられた意見(若者に選挙や政治に関心を持ってもらうために、効果的なこと)

- ・ SNSやインターネットによる広告。ショッピングモールでの宣伝。
- ・ 若者の意見を取り入れる機会を作る。
- ・ 学校の授業などで、今回のようなワークショップを取り入れる。
- ・ 若者が関心を持っている分野の政策を考える。
- ・ インパクトのある政策。
- ・ 投票を国民の身近なものにする。
- ・ インターネットで投票できるようにする。
- ・ 自分たちが主体的に政治に関わっていく。



この他、たくさんのご意見やご感想をいただきました。参加者の皆さん、ありがとうございました！